



武蔵野大学 環境プロジェクト 2014 年度

環境プロジェクトとは



武蔵野大学 環境学部では「環境プロジェクト」という授業がおこなわれています。
この授業は環境学科の2年次より履修が認められている授業選択科目です。
学生は自らの意思に基づき、既存のプロジェクトに加入したり新たに立ち上げたりして各団体
さまざまな企画を考え実行しています。そのプロジェクトテーマは、「自然環境」「環境教育」
「情報発信」「国際支援」など多岐にわたっています。

また、必要に応じて学外（企業・行政・民間）に協力をお願いをしています。企画実行の過程
においては、PDCA サイクル、つまり企画 (Plan) 実行 (Do) 評価 (Check) 改善 (Act) を根幹に
活動しています。

各プロジェクトの活動は授業時間だけではなく、授業外でも積極的に行われています。教授方
からはアドバイスや軌道修正等の指導はありますが、活動運営はあくまでも学生の自主性に任さ
れています。

目次



Aqua Cycle	2	CANDLE NIGHT	5
アリアケ海岸	2	里山保全プロジェクト	6
エコオクキャラバン	3	しえーあーる	6
えことりっぶ	3	むさしのビオトープ	7
ECO REPORT WAY 21	4	+ちっく	7
環境 SP	4	むさしの情報発信部	8
環境教育プロジェクト	5	One Planet Cafe Musashino	8

アリアケ海岸プロジェクト

活動目的

臨海副都心における水辺環境の改善。昔は豊かであった東京湾の姿を取り戻し、生命感のあふれる豊かな海にすること。

活動目標

海辺のビオトープを作る。埋立てにより失われた干潟を再生すること。アサリなどかつて東京湾に多く生息していた生き物の生息環境を作る。

活動内容

毎週火曜日に有明北地区の汐入と東雲運河で水質調査を行うとともに、打ち合わせ等メンバーで意見交換をしている。また定期的にNPOや環境保全団体の活動に参加させていただき、知識を深めるとともに、経験を積んでいる。



連絡先 3年 飯塚諒: 1235009@stu.musashino-u.ac.jp

* Aqua cycle *

川と人々との関わり合いが希薄になってしまった現状を川の現在と過去を調査、比較して発信し、人々に川の大切さについて考えるきっかけになってもらうプロジェクト団体。



Facebook→Aqua cycle で検索！

連絡先: s1335045@stu.musashino-u.ac.jp

活動目的

川の地域の人々に川の現状や昔の姿を知ってもらい、川や水の大切さについて考えるきっかけをつくる。

活動目標

調査した川の地域の人々が川の大切さについて考えるきっかけとなる情報を発信する。(マップ作成&イベント実施)

活動内容

- ・神田川のマップづくり
- ・水の学校参加
- ・他県の川へ訪問

ecoAUC CARAVAN

～エコオクキャラバン～

メンバー
木崎利騎
坂本果桜
星野真理子



活動内容

学生のほしいモノを調査・オークションに出品するものを選別
リアルオークション開催
使わなくなった服・雑貨類を集めて無料フリマの開催

目的

リユースによる廃棄物の削減。
学生の欲しいものを安価で提供する。

目標

年間で売上を10万円(売上は寄付)
学内での完全リユースの実現
年間で4回のイベント開催

連絡先: ecoauc@gmail.com



後援

株式会社ウインローダー/エコランド

エコトリップ



目的: ツアーを通して、様々な観点から環境を感じ、
ライフスタイルを見直すきっかけを提供する。

目標: 一人ひとりが多くの人をツアーに連れていき、
地域の活性化に貢献する。

内容: 年3回、自主企画ツアーを実施する。

ツアーごとにワークショップ・リレクレーションを行う。



連絡先 ☎ 51335006 @ stu.musashino-u.ac.jp

福島 明花



ECO REPORT WAY21

ECO REPORT WAY21とは...?

企業が発行する環境・CSR報告書を学生の視点で評価・分析し、企業へフィードバックする活動

学生のWIN

- ・コミュニケーションスキルの向上
- ・学んだ知識を活かす機会
- ・企業で働く人々との交流の機会
- ・就職に向けた企業研究への足掛かり

企業のWIN

- ・報告書に対する意見・要望を聞ける機会
- ・現報告書の有効活用、読者数の拡大
- ・学生の企業に対する理解の向上



サントリーホールディングス株式会社訪問の様子

企業訪問一覧

- ・ヤマトホールディングス株式会社
 - ・サントリーホールディングス株式会社
 - ・イオン株式会社
 - ・東レ株式会社
 - ・株式会社電通
 - ・京王電鉄株式会社
 - ・味の素株式会社
 - ・成田国際空港株式会社
- 計8社



連絡先: s1235051@stu.musashino-u.ac.jp

HPはこちら → <http://erw21.jimdo.com/>

環境SP



活動目的

ミツバチの養蜂によって植物の受粉を促し、自然を豊かにすることで都心における生態系の保全につなげる

活動目標

ミツバチの環境における重要性を知ってもらい養蜂を通し地域交流や外部と連携を行う。また、採取した蜂蜜や蜜蝋を加工・販売し、ブランド化する

活動内容

武蔵野大学有明キャンパス内で養蜂を行い、採取した蜂蜜と蜜蝋を使ったイベントの企画・開催を行っています。また、江東みつばちプロジェクト様や他大学の養蜂活動の見学、ミツバチに関するイベントへ参加しています。



江東みつばちプロジェクト様のご協力のもと養蜂活動を行っています。

日々の活動をTwitterで呟いています！
よろしければフォローお願いします！



連絡先
Kannkyousp@gmail.com
Twitterアカウント
@bee_sp_m



環境教育プロジェクト



* 活動目的

持続可能な社会の構築のため、次世代に向けた環境教育によって社会貢献を実践していく。

* 活動目標

自然体験を通じたイベントを企画し、そこで子供たちが自然の大切さに気づき、環境問題について自発的に学び行動できるよう導く。

人数が多く、楽しく元気に活動に励んでいます！
私たちの目標であるイベント企画では、子どもたちに自然の大切さを学んでもらうためゲームや劇を取り入れながら環境問題についてもお話をしていきます。
そんな環境教育プロジェクトは熱意のあるメンバーが集まった『誰よりも熱い！』プロジェクトチームです！

環境教育プロジェクトのボランティア活動、イベント成果報告においては下記のURLよりご覧いただけます。

<http://ecokyoiku.jimdo.com/>

その他ご質問等は環境教育プロジェクト代表の山田までご連絡ください。

代表：山田春香

s1235019@stu.musashino-u.ac.jp

CANDLE NIGHT

活動目的

私たちの生活において、廃油は必ず排出されるものである。
それを資源循環させることで循環型社会の構築、廃棄物の減少を図る。
さらに、活動を通して地域連携を行い、環境問題への意識の向上を促す。

活動目標

大学や地域・イベントなどから廃油を回収し、学内にある精製機でBDF化し、そのBDFを企業や地域イベントで使用してもらうことを目指す。また、環境イベントへの参加・実施をおこない、多くの人に環境問題やBDFについて関心を持ってもらう。

活動内容

キャンドル試作
イベント思案・準備
AMAカフェでのキャンドル装飾
BDF試作
「実践エコツーリズム」へBDF提供
九州観光物産フェアおよび江東区民まつりでの廃油回収の手伝い
黎明祭ブース出展
エコプロダクツ展出展

今後の活動内容

12月 冬至キャンドルナイトイベント

12/16(火)に武蔵野大学3号館3階にて冬至キャンドルナイトイベントを開催します。

入場無料となっておりますのでぜひお越しください！

連絡先

candle.night.musashino@gmail.com

里山保全プロジェクト

私たち里山保全プロジェクトは主な活動として八王子の戸吹にてNPO団体の戸吹北森を守る会の活動に参加し、定例活動や自主企画を行っています。また里山の大切さを伝えることを目標としています。

企画紹介

秋田プロジェクト

秋田の過疎地域である上小阿仁村に行き、若者の人手が足りないため手入れの行き届いていない里山を私たちが整備しました。また、現地の方との交流をはかり秋田の里山の現状を理解しました。

主な活動は山の中の階段づくりや道づくりを行いました。



里山ツアー

普段は里山に行く機会がない人たちに、楽しみながら里山を知ってもらうためにツアーを企画しました。午前中は山の中を歩き、活動地を巡ったり、間伐を行ってもらい、午後は二人一組になり鳥の巣箱を作り、それを設置しました。参加者の皆さんに大変充実した時間を過ごせたと言ってもらえて私たちもやりがいを感じることができました。



私たちに興味を持ってくださった方、一緒に活動して下さる方連絡お待ちしております^^
連絡先 リーダー川田将也 アドレス S1235030@stu.musashino-u.ac.jp

しーあーる

～活動目的～

環境問題に関する国際貢献を通して学生に身近に感じてもらい、ともに行動してもらう

～活動目標～

『武蔵野大学へのTable For Two導入』
『国際貢献に対する学生の認知度向上』

～活動内容～

*SNSによるTable For Twoやフェアトレードに関する情報の発信
*Table For Twoの導入にむけて

～連絡先～



• Facebook :
• Twitter : @shere_ru
• Mail : s1335020@stu.musashino-u.ac.jp

みなさまのご参加をお待ちしております！！

むさしのビオトープ

活動目的

- 生き物が住みにくい都市部で、人間によって自然を再構成し管理していくことを目指す。
- ビオトープの生態系を調べる。保全することにより自然との共生を目指す。

活動目標

- 植生調査・水質調査のデータをもとにむさしのビオトープをより良い環境にしていく。
- 小学校ビオトープの管理・発展を通してさらなる実践的な技術を得る。

活動内容

- 定点観測
- 水質調査
- 植生調査
- 小学校ビオトープ管理

連絡先

環境学部3年 雨宮正和
s1235028@stu.musashino-u.ac.jp



＋ちつく

〈目的・目標〉

私たちは身近なプラスチックごみであるレジ袋をリサイクルし、製品化する活動をしています。この活動によって多くの人に普段何気なく捨てているごみに対する意識を改めてもらいたいと考えています。

最終目的として循環型社会を目指しています。

〈活動内容〉

大学内で出たレジ袋・傘袋を回収し、洗浄から乾燥まですべて手作業でおこなっています。

また多くの人々にリサイクル意識をもってもらうために、これらの活動内容をSNS等で情報発信しています。

※記載されている製品はすべて回収したビニール袋でできています。



← 昨年製作した
オリジナルファイル



かみむら化学さん、岩井化成さんと
協力して製作したオリジナルボトル

〈協力していただいている企業様方〉

NPO法人そらべあ基金
株式会社岩井化成
かみむら化学株式会社
武蔵野大学管理センター清掃の方々

URL : <https://www.facebook.com/plustick>

Email : plustick.kpr@gmail.com



むさしの環境情報発信部(MEID)



フォローお願いします!!

2013年度環境プロジェクト内で立ち上げた、今年2年目の団体です。
活動目的 環境活動をメイン事業とする企業を訪問・調査し
代表者の生の声を同世代に発信することで
環境系企業の認知向上・就職活動におけるサポートにつなげています。

主な活動目標は、

- ① 環境保全へ実際に取り組んでいる企業を取材する。
- ② 取材内容を学生に向けて発信していく。
- ③ 学生からの意見を取り入れ、さらに企業を探す。

学生への情報発信は、取材報告書を作成し、
学内(学生ホール等)に設置しています。
また、blogで取材記事を掲載しています。



取材可能な企業様がいらっしゃいましたら
ぜひ取材をさせていただけると嬉しいです

One Planet Café musashino

Twitter @bananaopc
FaceBook One Planet Café musashino

活動目的

【知識のフェアトレードを行う】

One Planetの考えをもとに、フェアトレードについて学んだことを外部に提供し、その認知度を高める。

活動目標

バナナペーパーを通してフェアトレードを広める。

活動内容

- ✓ フェアトレード商品の企画開発
- ✓ イベントによる情報発信
- ✓ SNSによる情報発信

バナナペーパーとは

普通は捨ててしまうバナナの木繊維を使ったフェアトレードの紙です。

原産国のザンビアに雇用が生まれ暮らしがうるおい、森を切らずに済むことで動物たちの住処が守られます。

連絡はs1335008@stu.musashino-u.ac.jp まで





武蔵野大学¹⁰
MUSASHINO UNIVERSITY